



検体検査

検体検査とは、血液や尿などを使って体の中の状態を調べる検査のことで、目には見えない「体のサイン」をキャッチする大切な検査です

臨床検査技師の紹介

臨床検査技師は皆さまの健康を見守る検査の専門家です。

(臨床検査技師は、厚生労働大臣の免許を受け、病院や診療所などの医療機関で、医師又は歯科医師の指示の下に、各種の臨床検査を行う国家資格者です。)

臨床検査

身体の状態や病気の原因、重症度や緊急性、治療効果などを評価するために、身体や臓器の「働き」を調べる

検体検査と**生理機能検査（生体検査）**がある



病気の予防や早期発見、診断や治療効果を判断する上で、臨床検査は必要不可欠



1. 検体検査の目的は？

検体検査は人体から採取した血液、尿、喀痰、組織、細胞、体液などを用いてそれらの成分を調べる。

- ・ 病気の早期発見と予防
- ・ 治療効果の判断
- ・ 健康管理と予防医学



臨床検査技師は常に正しい検査結果を提供するために精度の管理を行っている

2. どんな病気がわかるの？



血液：貧血、糖尿病、肝臓・腎臓の状態など

尿：糖やタンパク、感染症などのチェック

便：大腸癌や消化器の出血の有無など

鼻腔拭液：コロナ・インフルエンザなど

生体組織：がん細胞や病変の評価

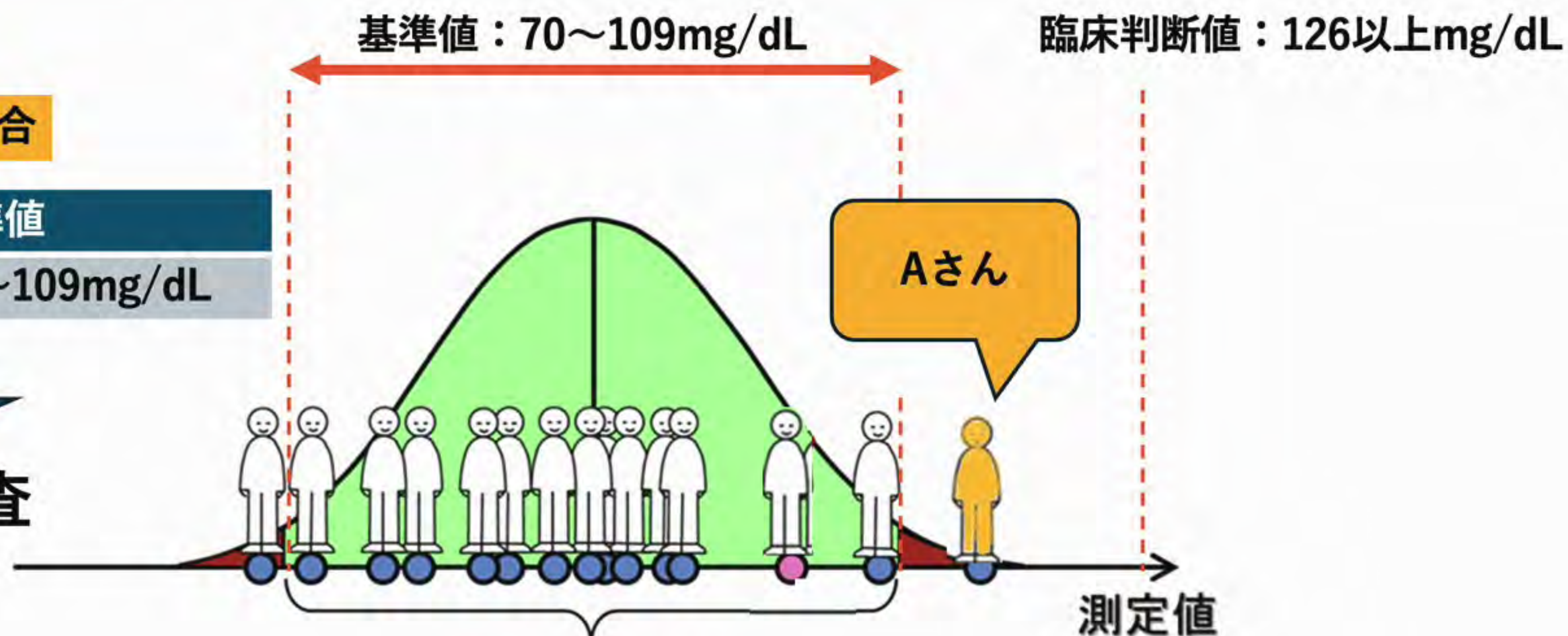


3. 結果の解釈と意義 基準値と異常値の判断

Aさんの場合

項目	結果	基準値
血糖	115 H	70~109mg/dL

精密検査



基準範囲

基準値の中央95%区間

日本臨床検査標準協議会 基準範囲共用化委員会編

『日本における主要な臨床検査項目の共用基準範囲 一解説と利用の手引き一』より引用



4.健康診断ではなぜ空腹時採血がいいのか？

- 食事の影響

食後は血糖値や中性脂肪が一時的に上昇し、血糖値は約2時間
 中性脂肪は約10時間で基準値にもどる
 最後の食事から10時間以上あけて採血を行う

- 正確な診断のために

空腹時の値が「基準値」と比較される
 食後では誤って高いと判断される可能性あり



まとめ

検体検査は、私たちの体から出るサインを読み取り、健康を守るための大切な手段です。

- ・症状がなくても、異常を早く見つけることができる
- ・数値で健康を見える化できる
- ・予防にも役立つ

年に1回は健康診断を受けて、検体検査を活用してください。